

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2005 SUMMER Vol.52

ROSE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE

ロゼの片隅

INTERVIEW

小須田 康人
小沢 真珠

粋な大人時間

特集

山口ともさんの楽器作りの拠点
アトリエ潜入取材!

EVENT CALENDAR 2005

フルートアンサンブル
The Lynx (リンクス) コンサート

Flash Back

ピックアップアーティスト

INFORMATION FROM ROSE THEATRE

ロゼの素顔





大ホールと中ホールの間を分かつ長い通路。職員の間では「AB通路」と呼ばれています。ロゼシアター建設時、この巨大な建物は、大ホール部分を「Aブロック」、中ホール部分を「Bブロック」として、エリアごとに工事が行われていました。「AB通路」という名前は、ここが「AとBの間に位置する通路」ということから、当時の現場関係者の中で、便宜的に使われていた呼び名が、完成後もそのまま職員に伝わったものです。

ご覧のとおり殺風景な廊下です。しかしその長さおよそ78メートル。一直線ですから、端から端まで見通すことはできるもの、しんと静まり返った夜など、ここをひとり歩くのは、いささか心細い。響き渡る自分の足音に急かされ、気がつけば急ぎ足になっていることも(笑)

Contents ●

- ロゼの片隅 #6 AB通路 (えーびーつうろ) 1
- INTERVIEW 小須田康人 2
小沢真珠 やっぱり一番大事なのは チームワークだと思いますね。
- 特集 粋な大人時間 5
山口ともさんの楽器作りの秘密基地
『アトリエ潜入取材!』
9/4 みんなでガラクタ音楽隊が楽しみです。
- EVENT CALENDAR 2005 (平成17年度公演情報 H17年9月まで) 7
情報先取り! 2005年も魅力あるイベント満載!
- The 舞台裏 フルートアンサンブル 9
Lynx (リンクス) コンサート
4人が奏でる可憐な音色。
- Flash Back ■ ロゼシアター主催事業 2005年2月~4月 11
- ピックアップアーティスト 12
◇ 船山直明
◇ NPO法人富士市民劇場
- INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE 13
◆ 「富士市民リクエストコンサート」リクエスト募集
- ロゼの素顔 舞台スタッフチーフ「渡辺 孝一」 14
● プレゼントクイズ * 編集後記 *



● 小すだ やすと

小須田康人

Interview

Kosuda Yasuto
×
Ozawa Majyu



● おざわ まじゅ

小沢真珠

今夏ロゼシアターに登場するのは、
鬼才・天才「G2」が脚本・演出を手がける「おじいちゃんの夏」。
小劇場界のスターたちが大集合する中で、
主役として一際存在感を放つ「小須田康人」さん、
そして今一番旬な女優「小沢真珠」さんにお話を伺いました。

二〇〇二年に続いての再演となりますが
どんな舞台になりそうですか？

小須田 G2さん(演出・脚本)が大改訂版を作ると仰っていたので、僕らも楽しみにしているのですが、前回は青山円形劇場でやったので小さな仕事でちょっとした表情を効果的に出すことができたんですね。ただ、今回はプロセ式の劇場ですから、そういうものが多少難しくなる反面大きな芝居が出来るようになる。芝居全体が大きくなることで台本も展開が大きくなるだろうし、そうなったら素敵だなと思えますね。

小沢 前は円形劇場の特色を活かして「マイム・マイム」を踊ったりしていたんですが、普通の劇場になるとそういう演出も変わってくると思うので私自身も楽しみです。でも、夏らしい舞台なので、線香花火が出てきたり、風鈴の音がしたりという懐かしい感じがするところは変わらないと思います。

小須田 それに今までは、アクティングエリアも小さくて役者の距離感も近かったから、それが横に広がる分、長距離での

キャッチボールが出来たら良いですね。

小沢 私は、「もみじ」というイジメっ子の役なんですけど、初演の時は、イジメ役をやったことがなくてすごく苦労したんですね。でも、その後にテレビドラマでイジメ役をやらせていただいたので今ではイジメ役は得意です。(笑)

小須田 でも、G2さんは役者の得意技を封じのが演出の特徴ですから。(笑)

小沢 えーっ そうなんですか？

小須田 いじめっ子じゃなくなる可能性もありますよ。(笑)

二人が思うこの作品の「素敵さ」って何ですか？

家族はとても大事だし、また学校の友達も大事だし、思わせてくれる作品。

それぞれのキャラクターが、最終的にみんなすごく憎めない可愛い人なんです。



びたいなと思いますね。だから、とりあえず元気でいることが一番大事かなと思います。そして、色々やることで結果がついてくればいいかなって。

富士市のファンにメッセージをお願いします。

小須田 僕はバイクに乗るのが好きで、近場のツーリングで富士市を通って富士五湖とかに行くんですよ。バイクを運転しながらなのであまりよそ見はできないんですけど、富士山の近くを走るのには好きで、すごく素敵なお景色かなと思います。仕事で何うのは初めてなんですけど、とても楽しみにしています。

小沢 私は舞台が好きで良く観るんですけど、小須田さんも佐藤さんも武藤さんもすごく大好きな役者さんなので、そういう方と一緒にできて嬉しいんです。だから今回、テレビとかでは見られない違う自分の一面を見せられると思うので、是非見に来てください。

ありがとうございます。
取材文/矢部哲也 撮影/飯野浩樹

つたりするんだけど、最終的にみんなすごく憎めない可愛い人なんです。

小須田 主人公がいたら、ライバル役は嫌われがちになってしまうんですが、それをそういう風に演じないようにするのが一番難しいんじゃないかな。

小沢 脚本自体に、いじめるシーンだけじゃなくて、寂しいところとかのシーンがあったりするので、最終的に優しい感じの舞台になっているんじゃないかなと思いますね。

小沢 田舎暮らしをして、自分で野菜とかを育てて生活したいですね。(微笑)

小須田 僕は、みんなに疎まれて嫌われている爺さんになりたいですね。(笑) 年をとると、自分の子供とか周りの人に子供言葉で話しかけられるじゃないですか。それがすごく嫌なんです。だからあの人の機嫌を損ねたら面倒だぞと思われちゃうような。

でもそれはある意味尊重されると思うんですけどね。とにかく頑固で口うるさい

爺さんになりたいです。

小須田 でも、普段の小須田さんがそういう風になるとは思えないですね。優しいし。小須田 そうかなあ？ 残念だなあ。これから性格改造から始めよう！(笑)

小沢 そうしたら飲みとか誘われなくなったりして。

小須田 「小須田がメイク落とししているから今のうちに行こうぜ」みたいだね。(笑)

旅公演の面白さは？

小須田 もうそれは皆で一緒にごはんを食へに行つて、お酒を飲んでワイワイついでう時ですね。(笑) それに尽きます。

小沢 ほんとこの通りです。(笑)

小須田 でもやっぱり一番大事なのはチームワークだと思いますね。出演者の折り合いが悪かったら公演の話も聞かなくて恵まれますけど、幸運なことには僕は今まで恵まれています。でも初演の稽古はみんな一生懸命でした。演出が驚いていましたから。休憩しても、稽古開始時刻の1分前には板について稽古の再開を待つという。(笑)

◆公演情報

G2produce Summer Special

おじいちゃんの夏
oji-chan no natsu

ロゼシアター中ホール
2005 8/23

入場料(全席指定)
1階席 4,500円
2階席 4,000円
※2階席のみ 学生2,000円

チケット好評発売中

作・演出 G2
小須田康人
武藤真子 (TEAM 暴走B-ZN)
廣川三登 (TEAM 暴走B-ZN)
佐藤真弓 (劇団まね)



音楽アコーディオン演奏 佐藤史朗



【ものがたり】

小学生・あゆみのおばあちゃん・鈴は3年前の夏に謎の言葉を残してこの世を去る。ところが、その謎が解けるはずの肝心のおじいちゃん・惣一郎は、鈴の死のショックで憶

けつてしまう。——3年後、あゆみの母・政子が一千万の借金を作ってしまったところから、父・育雄が会社をクビになり、家族は窮地に。これを救わんと、あゆみは優勝賞金1千万円のクイズ番組に出演することになる。

そんな時、突然、惣一郎の憶けが治る。もともと大学教授だった惣一郎は練習とはいいクイズに全問正解の快挙。チャンスかと思いきや、憶ける前のおじいちゃんは、頑固で、堅物な昔の人。クイズ大会になど出る気配はない。それどころか、近所と騒動をおこしたり、ライバルもみじに關されたりと、かえって事態は最悪の方向へ。

そしてある夜、惣一郎は、あゆみを誘い、二人で線香花火だけのちいさな花火大会を開く。そこで惣一郎は、おばあちゃん・鈴からの遺言をあゆみにぼつりぼつり話したのだが……。

山口ともさんの楽器作りの秘密基地

アトリエに 潜人取材!

みんなでガラクタ音楽隊」に出演される山口ともさんにお話を伺いました。

プロフィール

ガラクタに命を吹き込む打楽器奏者。
(日本廃品打楽器協会会長)
つのだ☆ひろのアシスタントとして音楽の世界に入る。1980年「つのだ☆ひろとJAP'S GAP'S」でデビュー。解散後、フリーのパーカッションストとして中山美穂・今井美樹・平井堅・石井竜也・サーカスなど、数々のアーティストのツアーやレコーディングに参加。

僕は「音楽＝音を楽しむこと」と思っている。決して音を楽しむことを忘れてはいけない、自分自身が音楽を楽しんでいなければ、それを聴きにくてくれた人を楽しませたり、気持ちよくさせることができないと思う。僕は子供から老人まで楽しめる言葉のいらぬ音楽を目指している。頭で難しく考える音楽よりも、単純に目や耳で楽しめる音楽のほうが僕は好きだ。

音楽を楽しむということは世界共通だと思う。ゴミから生まれる僕の音の世界を是非世界中の子供達や大人達に楽しんでもらいたい。

TOMO OFFICE

http://www.terra.dti.ne.jp/~tomoyama



「ともとも」こと山口ともさん

みなさんNHK教育「ドレミソレファミ」という番組を知っているかな？
実は、山口ともさんは「ともとも」の愛称でレギュラー出演されています。
超個人的パーカッションユニット山口ともさんのロゼシアターでのパフォーマンスを期待下さい。

見たよな？

「ともとも」こと山口ともさん
最初に作った「手作り楽器」は？
スペーススプリング(写真右下)という楽器です。先ほどもお話しましたが「銀河鉄道の夜」で作ったのが最初です。
いつ頃から、そのスタイル(髪型・服装など)になったのでしょうか？
一〇年前からで、もうトレードマークですね。フリーのパーカッションストなので第一印象を大切にしていきたい。一度見たら忘れられない、忘れられない事をして人、忘れられない事を教わった人というのも面白いな。みなさんやった方がいいですよ。
白色のフォークが胸のポケットに入っているのですが？

ガラクタ(みんながゴミと言っているものを不思議な楽器に変えてしまう...)。山口さん楽器を作る活動を始めるきっかけは？
最初は、九五年の「銀河鉄道の夜」というミュージカルです。それまでは既製の楽器で仕事をしていたが「銀河鉄道の夜」という物語が創造的、メルヘンチック、宇宙的なので既製の楽器を使うと音を聴くだけで楽器が想像できてしまうようではおもしろくない...。このミュージカルを観に来た人がこの音を聴いて、不思議だな？何を叩いているんだらう？姿が想像できない...。なんだろう？と感じてもらえればと思いやり始めたんです。

シャツに合せて色を変えているんですよ。スーツが五着位あるのですがすべて違う色(赤青黄色などのフォークがささっているんです。プラスチック製です。いつでも食べることができて良いんですよ。)
山口さんのおじいさんは有名な童謡作曲家で童謡「かわいい魚屋さん」も作曲されていますね。実は「かわいい魚屋さん」を作詞された方は、富士市出身の加藤省吾さんという方なんです。富士市では有名な人です。大淵第一小学校には記念碑があります。
ぜひ、行って見たいですね。
私のおじいちゃんの記念碑は愛知県豊川市国府町の赤塚山にあつて、大きな石に顔写真とかわいい魚やさんの譜面が付いています。
ロゼシアターでは、どんなことを？
手作り楽器体験やコンサート、みんなで作った楽器で一緒に演奏したいですね。外に出て二列になって行進したい。みんな笑顔で、ロゼガラクタ音楽隊の結成というのはどうでしょう？自分たちが作った楽器の音程の違いをみんなで味わえれば感動しますよ。
とても楽しみです。ありがとうございました。

アトリエに

2005年9月4日(日)ロゼシアター展示室で開催される「み

天井に色々なオリジナル楽器が吊り下がっています。叩いているのはスペーススプリング。九五年音楽劇「銀河鉄道の夜」に使用し山口さんが始めて作った楽器です。(感想...電源もないのにスプリング部分を叩くだけで、なぜこんなに響くのだろう？空間が宇宙の音でいっぱい。)

青い筒の中には何か仕掛けが隠されています。(実は中にスプリングが入っているんです。)



ペットボトルで作ったマラカス。(シャカシャカ!)

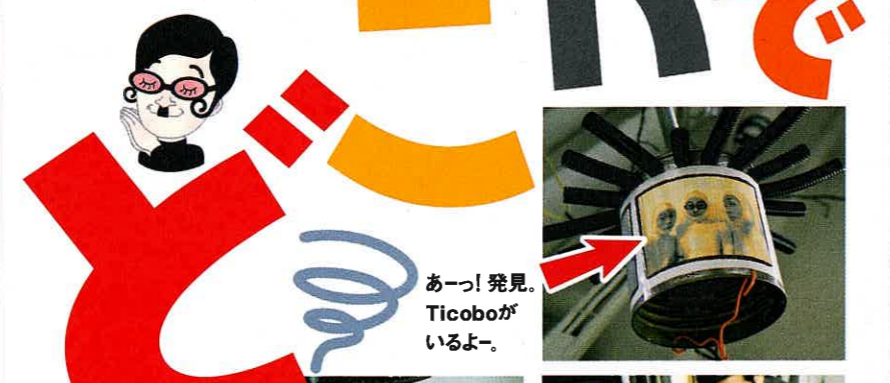


魚が入っていた発砲スチロールの箱。少し工夫するだけで、木の棒、ガラス板などがとてもきれいな音を奏でます。(公演当日のお楽しみ。)



灰皿と瓶の蓋を組み合わせて?

缶の裏蓋に付いているビニールを剥がして叩くと...



子ども用の自転車も山口さんが楽器に作り変えています。車輪が回ると音が鳴りますよ。

あーっ! 発見。Ticoboがいるよー。



缶にスプリングを付けて叩くだけで既製の楽器にはないとても不思議な音になってしまふ。



プロフィール

ゴミを操る打楽器グループ Ticobo(ティコボ)
山口とも、玉木正昭、渡辺純也、土方雅哉の4人で構成される新世代廃品打楽器パフォーマンスユニット。生活の中で増え続ける廃品(ゴミ)から作った楽器を叩くという単純な方法、方にはまらない独自の演出で小さなお子様からご年輩の方も理解できるように音楽の原点である楽しさを表現する。
※なおパフォーマンスは3人でを行っています。

<ティコボの名称の由来>
「ティン」+「コンボ」の造語。

【ティン】tin、名詞
1. スズ(原子記号Sn)、2. プリキ
※ Ticoboでは主に「プリキ」としての意味合いが強い。

【コンボ】
combo、アメリカ
八人くらいまでの小編成のジャズ楽団。即興演奏を中心とする。
※ Ticoboでは主に「小編成の楽団」としての意味合いが強い。ジャズを演奏はしないが、即興の要素は含んでいる。

みんなでガラクタ音楽隊

●開場 14:00
●開演 14:30
展示室 ◎協力:富士芸術村

コンサート 600円【限定100名】
※ワークショップ付添 800円 ※4才以上有料
オリジナル楽器作り、コンサートなど
内容盛り沢山です。ご家族で楽しめる内容です。



●コンサート当日は、こんなグッズも販売するよ。

●カップ ●シール

EVENT CALENDAR 2005

9 SEPTEMBER

9/4 日曜日 **みんなでガラタ音楽隊**
 協力:富士芸術村
 展示室
 開場/14:00 開演/14:30
 入場料(税込)
 コンサート/600円(限定100名)
 チケット好評発売中(会員割引はありません)



山口とも



Ticobo

チケット発売日 **サウンド・オブ・ジョイ&ロゼゴスペルクワイア**
 中ホール
会員・一般
 (9:00~)
 公演日/2005年12月18日(日)
 開場/15:30 開演/16:00
 入場料(全席自由・税込) 前売り/2,500円(当日/3,000円)
 学生/800円

チケット発売日 **アジアの風シリーズ 第8回「インド発」**
インド楽器シタール&舞踊
会員(12:00~)
 小ホール
 公演日/2005年12月9日(金)
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定・税込)
一般(9:00~)
 一般/2,000円 学生/1,000円



アジアの風シリーズ 第7回「中国発」
中国民族楽器コンサート「和漢四季夢弦」
 プログラム:涙そうそう、夜来香、世界に一つだけの花 ほか
 小ホール
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定・税込)
 一般/2,000円 学生/1,000円
 チケット好評発売中



沼田園子、クリストフ・ヘンケル、ミハエル・クリスト
3人のヴィルトゥオーゾによる室内楽の夕べ
 プログラム:シューベルト/ピアノ三重奏曲第1番
 ベートーヴェン/ヴァイオリン・ソナタ第2番
 中ホール
 開場/18:00 開演/18:30
 入場料(全席指定・税込)
 一般/3,500円 学生/1,000円
 チケット好評発売中

チケット発売日 **小原孝&トライトーンコンサート**
 中ホール
会員(12:00~)
 公演日/2006年1月22日(日)
 開場/18:00 開演/18:30
 入場料(全席指定・税込)
一般(9:00~)
 1階席/4,000円
 2階席/3,000円
 学生/1,500円

ボヘミア・オペラ「カルメン」
 大ホール
 開場/18:00 開演/18:30
 入場料(全席指定・税込)
 S席/10,000円
 A席/8,000円
 B席/6,000円
 チケット好評発売中



※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については13ページをご覧ください。
 ※表示価格は全て消費税が含まれております。

8 AUGUST

8/4 木曜日 **ロゼこどもコンサート**
 小ホール
 1回目:開場/10:30 開演/11:00(0歳から入場可)
 2回目:開場/13:00 開演/13:30(3歳から入場可)
 入場料(全席自由・税込) 均一/300円(3歳以上要チケット)
 チケット好評発売中
 協力:富士クラシック協会

8/6 土曜日 **JOE HISAISHI SYMPHONIC SPECIAL 2005**
 指揮:ピアノ:久石譲
 演奏:新日本フィル・ワールド・トリウム・オーケストラ
 プログラム:交響組曲「ハウルの動く城」全曲
 大ホール
 開場/17:30 開演/18:00
 入場料(全席指定・税込)
 S席/8,000円 A席/6,000円 B席/4,000円 学生均一/3,000円
 チケット好評発売中

Joe Hisaishi
 Symphonic Special 2005
 Presented by 日本交響楽団



チケット発売日 **魔法のア・カペラ**
シャンティックリアコンサート
会員(12:00~)
 大ホール
 公演日/2005年11月4日(金)
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定・税込)
一般(9:00~)
 S席/4,500円 A席/4,000円

8/7 日曜日 **オロナミンC Presents**
上戸彩LIVE TOUR 2005「元気ハツラツウ?」
 大ホール 開場/17:00 開演/17:30
 チケット完売

ふじ寄席スペシャル!
林家こぶ平 改メ九代 林家正蔵 襲名披露「特選落語名人会」
 出演:林家こぶ平改メ九代林家正蔵、桂三枝、春風亭小朝、三笑亭夢之助、翁家勝丸
 大ホール
 開場/13:30 開演/14:00
 入場料(全席指定・税込)
 1階席/4,500円 2階席/4,000円
 チケット完売



8/23 火曜日 **G2プロデュース「おじいちゃんの夏」**
 作・演出:G2 出演:小須田康人、武藤見子、小沢真珠 ほか
 中ホール
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定・税込)
 1階席/4,500円
 2階席/4,000円(2階席のみ学生2,000円)
 チケット好評発売中



8/27 土曜日 **スローカートロンボーン四重奏団**
会員(12:00~) 特別出演:小野 隆洋(富士市出身)
 中ホール
 公演日/2005年11月26日(土)
 開場/18:00 開演/18:30
 入場料(全席指定・税込)
一般(9:00~)
 一般/3,000円 学生/1,500円

8/31 水曜日 **松竹大歌舞伎 十一代目 市川海老蔵襲名披露公演**
 出演:新之助改め市川海老蔵(成田屋)、市川團十郎(成田屋)、片岡市蔵(松島屋)、市川右之助(高嶋屋)、市村家橋(橋屋)
 演目:一、源平布引滝 実盛物語 一幕
 二、十一代目市川海老蔵襲名披露 口上 一幕
 三、お祭り 清元連中
 中ホール
 1回目:開場/13:00 開演/13:30
 2回目:開場/17:00 開演/17:30
 入場料(全席指定・税込)
 1階席/7,000円 2階席/6,000円
 学生均一/3,000円
 チケット好評発売中



8/26 金曜日 **創作紙人形多賀紙人形展**
 ロゼシアター4階和室
 開催時間/10:00~19:00
 入場無料



7 JULY

7/6 水曜日 **ふじ少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート**
 演奏:新日本フィルハーモニー交響楽団
 大ホール
 ※中学生招待コンサートのため一般の方のご入場はできません。

7/8 金曜日 **ふじ少年少女芸術劇場 小学生招待コンサート**
 演奏:静岡交響楽団
 大ホール
 ※小学生招待コンサートのため一般の方のご入場はできません。

チケット発売日 **伊勢正三プロデュース「ロゼフォークプラザ2005」**
会員(12:00~) 出演:伊勢正三、ムッシュかまやつ、平川地一丁目、センチメンタル・シティ・ロマンス
一般(9:00~)
 大ホール
 公演日/2005年11月12日(土)
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定・税込)
 S席/5,000円 A席/4,000円



7/14 木曜日 **宝くじ文化公演**
ペレス・プラード楽団
 プログラム:マンボNo.5、エル・マンボ、マンボ黒馬、ベサメ・ムーチョ ほか
 大ホール 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定・税込) 均一/3,000円 チケット好評発売中
 ※本公演は「宝くじ」から助成を受けて開催し、通常料金の約半額のご提供となっております。
 また、ロゼ・メンバーズクラブの会員割引はありません。

7/16 土曜日 **魅えるタンゴの王様**
フランシスコ・カナロ楽団
会員(12:00~) 指揮:ピアノ:ホルヘ・ドラゴナー
 プログラム:ガウチョの嘆き、インスピラシオン、パリのカナロ ほか
一般(9:00~)
 中ホール
 公演日/2005年10月18日(火)
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定・税込)
 1階席/4,000円 2階席/3,000円
 学生均一/1,500円



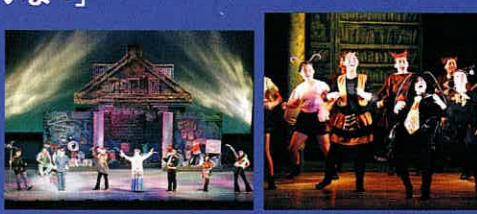
7/18 月曜日 **高尾晃市の不思議な世界**
マジック・シアター
 中ホール
 開場/13:30 開演/14:00
 入場料(全席指定・税込)
 1階席/3,000円 2階席/2,500円
 こども(3歳~中学生)/800円
 チケット好評発売中
 ※2歳以下は、保護者1名につき、ひざ上鑑賞可。



7/23 土曜日 **富士市民リクエストコンサート**
会員(12:00~) 演奏:吉田正記念オーケストラ
 大ホール
 公演日/2005年11月1日(火)
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定・税込)
一般(9:00~)
 一般/2,000円 学生/1,000円



7/30 土曜日 **青少年サマーミュージカルスクールVol.5**
「我楽屋物語Ⅱ〜忘れないよ〜」
 中ホール
 1回目:開場/10:30 開演/11:00
 2回目:開場/13:30 開演/14:00
 入場料(全席自由・税込)
 均一/1,000円



**The
舞台裏**

The Flute Ensemble Lynx Concert
フルートアンサンブル
リンクス
Lynxコンサート

2005.4.15
FRI



*Link*mit
フルートアンサンブル
Lynx
2005.4.15
Maiko Inamoto*



**まるでフルートの
オーケストラみたい**

繊細で女性的な音、という印象の強いフルートだが、五十人のフルーティストが一同に集まると、その音色はやさしさの中に力強さを秘め、客席全体をふんわりと包み込んでいった。



▲これもフルートです。C・Bass (コントラバス)

**私たちリンクスと
共演します！**

まず、パート別の練習。1st (ファースト)、2nd (セカンド)、3rd (サード)、Alto (アルト)、Bass (バス) に別れ、リンクスのメンバーにそれぞれ指導を受けた。最初は緊張の面持ちだったが、いざ音を出し始めると、だんだん演奏家としての凛々しい表情に変わっていった。まだはじめて年ぐらいの人、生徒を持って教えている人、昔、少しやっていたんだという人、フルートの経験年数は様々だが、一つの曲を作り上げようとする強い気持ち、美しいアンサンブルとなご、次第に響き渡ってきた。途中、リンクスのメンバーへの質問コーナーがあり、楽器のこと、練習方法、個人的なことまで答えてくれた。こんな交流が、ともに演奏するもの同士の団結力を生み出していったのかもしれない。



**参加できて嬉しかった。
もっと上手になりたい
と思った。**

四月に入って、フットアップのワークショップを回行い、公演当日を迎える。午後五時十五分、舞台の上ではじめての演奏であるリハーサルは約一時間。短い食事時間の後、ゆっくりする暇もなく午後七時開演。茅原先生指揮のもと、リンクスのメンバーを含めた五十人のロゼ・フルート・アンサンブルによる演奏が始まった。みんな口々に「緊張する」とは言っていたが、その緊張を味わう時間なんてあったのだろうか。あつという間に終わった演奏、そのあとの大きな拍手。客席にもとる皆さんの表情は笑顔で、興奮いまだ冷めずといった様子だったが、やり逃した喜びがひしひしと感じられた。

フルートという楽器と触れ合うことの喜びを、ワークショップ参加者それぞれがあらためて感じた日ではなかっただろうか。その喜びはきっと客席にも届いただろう。

▲リンクス質問コーナー



**ロゼ・フルート・
アンサンブル誕生**

三月二十八日(月)ロゼ・フルート・アンサンブルの第一回ワークショップが開催された。二〇代の中学生から六〇代まで、富士・富士宮を中心に静岡、焼津、神奈川県から、四十六名の方が参加した。この日は、リンクスのメンバーと、地域で長きにわたりフルートをご指導なさっている茅原初子先生がワークショップに参加し、直接指導をしてくださることにになっていた。曲目は、宮崎駿作品の音楽をメドレーで綴った「スタジオジブリメドレー2005」。リンクス公演の四月十五日、オープニングでリンクスとロゼ・フルート・アンサンブルが共演することになっていた。

リンクスの皆さんは各地での演奏活動の他に、フルートアンサンブルの普及にも力をそそいでいます。フルートの盛んな富士でもワークショップを行いました。こうして編成された「ロゼ・フルート・アンサンブル」。彼らのワークショップの様子や、あわただしい公演当日の舞台裏を追いかけてきました。



Flash Back

ロゼシアター主催事業 (2月~4月まで) フラッシュバック 2005

ふじ寄席 「立川志の輔 新春独演会」

2/18 金

テレビでも馴染みの志の輔師匠のお囃子、お客様は大笑いの初笑い!さすが大御所と言わざるを得ない高座でした。



鬼太鼓座ライブツアー2004-2005 「〜響天動地〜Rhythm Red」

2/13 日

富士市に拠点を置き活躍する鬼太鼓座。大ホールに響き渡った躍動感溢れる太鼓サウンド、外の寒さも忘れさせるくらしい熱いステージでした。



クラシック+映画音楽=クラシネマ!コンサート

2/11 金

協力:富士クラシック協会

映画の中で使用されたクラシック曲、純粋に映画のために作られて大ヒットを記録した名曲で構成されたコンサートは、映画のワンシーンを想いおこさせてくれる素敵な時間を提供してくれました。



新進アーティスト作品展 - Art Generation2005 -

3/5 土

3回目となる本作品展。彫刻・絵画・写真・切絵・オブジェ・インスタレーションなど、様々なジャンルのアート24作品が集結。感性溢れる作品群はとても見応えがありました。


3/13 日



ザ・ハープ・コンサート

3/5 土

アイルランド音楽の郷愁感漂う独特の調べに、お客様は癒されています。また、時折見せるダンサーのユーモラスなパフォーマンスでは、客席から笑い声も聞こえていました。



ミュージカル制作講座Vol.4

2/26 土

制作の仕事を中心とした講義、そして小説を戯曲化して上演するという実技の二つのテーマで行われました。6日間という短い期間ながら、内容の詰まった講座でした。


2/27 日

3/5 土

3/6 日

3/12 土

3/13 日



劇団仲間公演 「モモと時間どろぼう」

4/24 日

ハラハラドキドキのシーン、和やかに歌い踊るシーンなど大人も子供も楽しめるステージに、来場した親子連れは演劇の楽しさを再認識といった感じでした。



オペレッタ「お姫様の出発」

4/3 日

富士市に伝わるかぐや姫伝説をもとに構成されたオペレッタ「お姫様の出発」。ピアノの生演奏による子供たちの歌声と、随所に散りばめられたコミカルなシーンのお客様は大満足でした。



ロバの音楽座 愉快的コンサート

3/21 日

0歳から入場可能とした本コンサート。身の回りのものなどで作った創作楽器によって繰り広げられる演奏は、子供たちに不思議な音楽の世界を伝えてくれました。



Pick up artist

船山直明

(ふなやまなおあき)

新進アーティスト作品展「Art Generation 2005」で、トンボ四十号 蜻蛉の背からカビが生えるまでで優秀賞を受賞した、弱冠二十三歳。この公募展は、作家を志す十八歳から三五歳を対象としているもので、今年で三回目を迎える。船山さんは二回目の挑戦で見事受賞となった。「受付のとき、他の作家の面白そうな立体作品を見て、自分は平面的だから、ちょっと難しいかなと思っていたので、審査結果の通知が来たときはびっくりしました」

この作品を見る人たちは、たいていなめるように顔を近づけて見る。作品全体に精密に描き込まれた数字、文字、図柄。「ボールペンの部分だけでも一ヶ月半かかりました」完成するまでにはそれ



以上かかっているわけだ。タイトルにもなっているトンボについて、「自分が好きなものを描いたほうが面白いと思います。トンボなどの昆虫が好きだし、ラジコンのパーツが好きで格好いいと思います。画面のロボットは自分でデザインしたものです。(写真)と、少年のように話す。

現在、大阪芸術大学 修士課程において

勉強中。その後は、「できれば、何かをしながらでも作家として活動したい。」とのこと。そんな船山さんに、作家志望の皆さんへ、絵を楽しく描きたい人へメッセージをもらった。「自分が好きなものを描いていくと上達すると思います。それで技術が上がっていくと、他の部分も比例して向上していくと思います。」



富士市民劇場

NPO法人

今年創立三十周年を迎えた「富士市民劇場」は、その入会案内に「演劇を楽しく味わう心」を大切にしながら、

会員が自主的に企画・運営に参加、活動する会員制の文化団体です」とあるように、例会と呼ばれる年六回の鑑賞会で演劇やミュージカルを楽しんでいる。



一九七五年の創立当時はその活動内容を知る人も少なく、創立から携わり現在理事としてその運営を担っている井上實氏は「夜な夜な行われる役員の集いに、

あの団体は何をやっているんだろう?と怪しまれた。」と当時を振り返る。次第にその存在は認知されはじめ、また良質なお芝居を定期的に鑑賞できるとあって、その会員数は年々増え一九九七年には二五八一人を数えた。しかし、

現在は一〇五六人と減ってしまっており、「これからまた会員数を増やしていくって、たくさんの方に芝居を見ていただきたいですね。」と語る。

Pick up artist

準備作業や当日の運営は、希望運営サークル制という形をとり、三人以上のサークルと呼ばれるグループで分担して、皆で作りに上げる例会を目指している。「上演してくれる劇団は、劇そのものを作っている。私たち会員は見る環境を作るのが大事だと思う。そして演じる側と見る側で例会を成功させる。この運営スタイルはまだまだ発展途上だが、良い方向に向かってるなど感じます。」と笑顔。

「創立当時から今まで携わってきて、NPO法人の資格を取るまでは、興行団体として扱われたこともあり辛かったこともありますが、良かった事、楽しかったことの方が多いですね。続けてきて良かったと本当に思います。」この三十年に想いを馳せる。



地で、「この人々」とは、戦後(一五四五年)から現在までを振り返っており、各方面で称賛を浴びている。井上氏は、「この演劇史の編纂をしたこと、そして一九九四年に発表された市民ミュージカル「春への出発」ティアナ号の贈りもの」を制作したことは感慨深い。これからは、後継者を育て、この会をずっと続けていくための良いなと思います。」と話してくれた。

「NPO法人富士市民劇場」は、富士市における演劇文化の大きな担い手として、今後も良質な舞台を提供してくれる事であろう。

Pick up artist



●エスピーエスたくみ
静岡に本社をおき、東部では御殿場、沼津、三島、長泉、伊東、富士宮の公共ホール、そしてロゼシアターの舞台の管理を委託している。その他、各種イベントのプログラマーや、テレビ番組の企画制作を行っている。

●「渡辺孝一」
舞台スタッフ

ロゼシアターの舞台スタッフは、財団職員の舞台担当四名と常駐委託会社エスピーエスたくみに所属するスタッフ七名の計十一名で構成されている。そのエスピーエスたくみのチーフとして、ロゼシアターのオープンから市民文化を見守ってきた渡辺孝一氏は「我々舞台スタッフは、技術を持つ人間の集まりですが、一つの舞台を市民と共に創り上げる時は、技術よりも気持ち次第だと考えているので、人と人とのコミュニケーションを大事にして、気持ちを込めた良い舞台をつくる事を心がけています」と話す。

また、市民創作ミュージカルの時に、市民ボランティアスタッフの意欲、感性を見ているととても刺激になるといふ渡辺氏は、「舞台は創造の世界、感性が大事。これからは夢と感動のある舞台をつかっていきたい。」と舞台創造にかける熱い思いを話してくれた。

一つの舞台を創るうえで欠かせない存在は「舞台スタッフ」。演じる人がいても、それを支える裏方の人間がいなければステージの幕は上がらない。

プレゼントクイズ
8月23日(火)公演、G2プロデュース「おじいちゃんの夏」でいじめっこの「もみじ」役を演じる女優は誰？

プレゼント 1 「音楽座ミュージカル 21C:マドモアゼル モーザルト」 チケット5組10名様 (10月6日公演)

プレゼント 2 レストラン「ロゼ」 御招待券 2組4名様

賞品はがきに、住所、氏名、年齢、職業、クイズの答え、希望するプレゼント名、本誌に対するご意見・ご感想をお書きのうえ、下記宛て先に郵送を。(平成17年8月末日消印有効)なお、当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

宛て先 〒416-0953 富士市藤原町1750番地 ロゼシアター「情報誌ロゼ第52号プレゼント」係

休館日のお知らせ
7月4日(月)・19日(火)
8月1日(月)・16日(火)・17日(水)・18日(木)・19日(金)・22日(月)
9月5日(月)・20日(火)
保守点検の為、全館休館となります。

編集後記

9月に公演が予定されている、山口とさんのアトリエにお邪魔してきました。山口さんが命を吹き込んだ楽器たちがあちらこちらにあつて、その音は宇宙的だつたり、思いもかけない響きだつたりして、驚きました。コービーをこそうなったのですが、そのコービーの底にはなんと、ともとものおおおお...あまりにもかわいくてその場で購入してしまいました。コービーもおもしろかったです。

(編集長)

市原悦子、仲道祐子、夏川りみ、チンドン王、高嶋ちさ子、軽部真一、夏夕介、仲道郁代、美輪明宏、城島有美子、佐野史郎、伊勢正三、新美聖子(敬称略)。この方々は、私が編集担当になってから取材をさせていただいたアーティストの皆さんです。稽古場やライブ会場、時にはご自宅にまでお邪魔しての取材でした。そして今回は、小沢真珠さん、小須田康人さん、とても素敵なお一方でした。

(編集長)

Information from ROSÉ THEATRE

●ロゼシアターからのお知らせ

リクエスト募集!!

富士市民 平成17年11月1日(火) 19:00開演 大ホール
◆演奏:吉田正記念オーケストラ

リクエストコンサート

市民からのリクエストによりプログラムされるオーケストラコンサート!



あなたが聴きたい曲をフルオーケストラで演奏します。昭和の歌謡曲、平成のポップス、映画音楽、クラシック等々、なつかしの曲、思い出の曲をリクエストしてください。

- 応募方法**
- リクエスト用紙による応募**
ロゼシアター、市内公民館、富士市役所文化振興課に置いてあるリクエスト用紙に記入していただき、ロゼシアターまでご応募ください。
 - はがきによる応募**
官製はがきに、お客様の氏名、リクエスト曲、それに伴う思い出のエピソードをお書きの上、ロゼシアターまでお送りください。
〒416-0953 富士市藤原町1750番地 ロゼシアター「富士市民リクエストコンサート係」行
 - インターネットメールによる応募**
ロゼシアターホームページ(<http://rose-theatre.jp>)の、富士市民リクエストコンサートのコーナーより所定の書式に従ってご応募ください。
- お問い合わせは、ロゼシアター事業担当0545-60-2512まで

●リクエスト応募期間
平成17年7月1日(金)～9月30日(金)

ロゼシアター主催公演のチケット購入方法について

- ロゼ・チケットセンターで直接購入 (9:00～19:00)
ロゼシアター1階のロゼ・チケットセンターへどうぞ。座席表を見て空いているお席の中から好きな席が選べます。
- ロゼ・チケットセンター電話受付で購入 (9:00～19:00)
ロゼ・チケットセンター0545-60-2500にお電話で受付(座席番号の指定はできません)のうえ、以下の方法でチケットをお受け取り。
[1] 直接来店...ロゼ・チケットセンターでチケット代金とお引替えください。
[2] 郵送...チケット代金を郵便振替もしくは銀行振込でご入金(チケット代金+チケット送料)いただき、ロゼ・チケットセンターでご入金を確認出来次第チケットをご郵送いたします。

郵便振替:郵便振替口座 00840-0-130374
銀行振込:富士信用金庫本店 普通預金口座 0146337 ※いずれもロゼ・チケットセンターまで。

- プレイガイドで直接購入 ※取り扱っていない公演もございます。下記のプレイガイドでご購入ください。
■マルサン書店 沼津仲見世店 TEL.055-963-0350 10:00～20:00
■カワセ書店 富士宮富原店 TEL.0544-24-7160 9:00～24:00
■ユニオンテラス富士宮店サービスカウンター TEL.0544-24-6777(代) 10:00～21:00
- チケットぴあで購入
電話で予約購入 10:00～23:30
0570-02-9999 (音声認識予約)
スポーツ専用 0570-02-9977
演劇専用 0570-02-9988
クラシック専用 0570-02-9990
問合せ専用 0570-02-9111

各店舗で直接購入
チケット

ロゼシアターがより利用しやすくなりました! **施設の利用方法変更**
市民サービスの向上に努めるべく、この4月より、施設の利用方法が変わりました。

- 施設のお申し込み受付時間が1時間延長
これまで午前9時から午後7時までだった受付時間を午後8時まで延長しました。
- 会議室、練習室の当日貸し出しが可能に
これまで前日までのお申し込みが必要だった会議室、練習室の当日受付が可能になりました。
- 1ヶ月を切ったからのホールの申し込みが可能に
これまでホールの使用については、1ヶ月前までのお申し込みが必要でしたが、打ち合わせやスタッフの人数など、条件が合えば、1ヶ月を切っても対応可能になりました。
- 和室を食事会場としてお使いになれます
4階和室を食事会場としてお使いいただくことが可能になりました。ただし食事についてはロゼシアター内「レストランロゼ」にご注文とさせていただきます。

●詳しいお問い合わせは、ロゼシアター(電話0545-60-2510)まで、お気軽にお問い合わせください。

